

令和4年度 事業報告

I 事業推進報告

第1 交通安全推進事業(公益目的事業1)

1 交通安全意識向上事業

(1) 交通安全地域指導者セミナー

交通安全地域指導者セミナーの開催については、内閣府主催の北海道ブロック「令和4年度交通ボランティア等講習会」の開催の意向があり、その内容及び対象者が類似することから、単独開催を行わず国の事業への支援を行いました。

【北海道ブロック交通ボランティア等講習会】

交通安全活動の実践的指導方法の習得や指導者としての資質の向上を図るため、市町村交通安全推進員、交通安全担当職員等の参加者の取りまとめを行い、事例発表者の選考・依頼や講習会資料を配布するとともに、現地及びオンラインで講習会に参加し、指導技法を習得しました。

・11月29日・30日 札幌市(ホテルポールスター札幌) 41名参加

(2) 交通安全研修会等への講師の派遣

企業・団体等が開催する交通安全研修会等に、講師として職員を派遣し、交通安全意識の高揚に努めました。

・3回派遣

10月3日(札幌市) 2月2日(札幌市) 3月7日(岩見沢市)

(3) 飲酒運転根絶研修

飲酒運転根絶の活動に必要な知識等に精通した人材を育成するため、市町村職員、交通安全推進員、交通安全指導員等を対象に全道11所(振興局管内)において研修会を開催し、飲酒運転根絶への意識の向上並びに啓発活動における参考情報の提供を図りました。

研修会を開催した地区は次のとおりです。

地区	開催月日	参加者数	主な開催内容
空知	3月7日	42	当委員会職員の講演、DVDの上映
石狩 (※)	3月14日	28	道警察本部・日本損害保険協会北海道支部から講演、石狩地区交通安全推進協議会から飲酒運転根絶の取組状況、飲酒運転根絶動画コンテスト作品の上映
後志	3月14日	36	道警察札幌方面倶知安警察署・MS&ADインターリスク総研㈱から講演など
胆振	11月22日	26	道警察札幌方面室蘭警察署・日本損害保険協会北海道支部から講演、DVDの上映
上川	3月1日	46	道警察旭川方面本部からの講話、DVDの上映
留萌	12月1日	50	東海電子㈱から講演、留萌地区交通安全推進協議会から飲酒運転根絶飲食店等の登録制度の説明、DVDの上映
宗谷	11月9日	36	道警察旭川方面稚内警察署から講演
オホーツク	11月24日	44	道警察北見方面本部から講演、札幌山の手高校演劇部の動画上映
十勝	3月17日	21	道警察釧路方面帯広警察署・日本損害保険協会北海道支部からの講話
釧路	12月2日	58	道警察釧路方面本部・釧路総合振興局から講演
根室	2月21日	35	道警察釧路方面中標津警察署から講演、根室地区交通安全推進協議会から飲酒運転根絶飲食店等の登録制度の説明、DVDの上映
計		422	

※北海道交通安全推進委員会と石狩地区交通安全推進協議会との共催で開催。(日高、渡島及び檜山地区へは、オンラインで研修会の様子を配信。)

2 調査・研究事業

(1) 交通安全推進員の設置

地区交通安全推進協議会に交通安全推進員を委嘱配置し、地域の実態に即した効果的な交通安全運動を推進するほか、地域の実情に応じた交通安全に関する調査を実施し、地域住民に提供しました。

(2) デイ・ライト事業の点灯率調査等

各地区交通安全推進員によりデイ・ライトの点灯率を年1回（春）調査し、調査結果を関係機関・団体に提供するとともに、新たな試行として、高齢者を対象にした夜光反射材の意識調査を実施しました。

- ・10月7日 第57回全道老人クラブ大会（千歳市）
- ・各地区交通安全推進協議会において、市町村の協力や研修会などを活用し実施。

(3) 交通安全推進員の研修

交通安全推進員14名を対象に研修会を開催し、事業概要、交通安全運動の推進要領の確認を行い、更に交通安全運動の取組み方や活動事例について研修しました。

- ・4月19日 札幌市（札幌駅前ビジネススペース/一部オンライン配信）

3 広報事業

(1) 交通安全総決起大会の開催

秋の全国交通安全運動行事の一環として「2022交通安全道民総決起大会」（交通安全対策七者連絡会議主催）を開催し、ゲストに北海道日本ハムファイターズの稲葉篤紀ゼネラルマネージャー兼スポーツ・コミュニティ・オフィサーと飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」を招き、交通安全を呼びかけました。

- ・9月21日 札幌市（道庁赤れんが庁舎前庭） 100名参加

(2) 広報啓発事業

ア メディア等を活用した広報活動

正会員である新聞社等と連携し、新聞紙面を活用した広範な広報活動を推進しました。

新聞社名	新聞掲載日
北海道日刊スポーツ新聞社	6月23日、7月10日、7月13日、9月18日、9月21日、9月25日、9月27日、11月10日、11月11日、11月14日、11月15日、11月18日

イ 機関誌の発行

関係機関・団体の特色ある交通安全活動や地域の問題を掲載する、機関誌「ゆっくり走ろう北海道」を発行し、交通安全情報を提供して安全意識の高揚を図りました。

- ・8月、1月発行 各11,000部

ウ ホームページ、SNS等による発信

当委員会のホームページ、SNS（Facebook、ツイッター）、YouTubeチャンネルにより、本道の交通安全情報や取組等について広く発信しました。

エ ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社と当委員会がタイアップし「守ってね。交通ルール」と袖にメッセージを入れたファイターズTシャツと、夜光反射材付きコンソードレボトルホルダーを制作し、全道179市町村の小学1年生合計37,000人に配布していただきました。

(3) 飲酒運転根絶の日決起大会の開催

ア 7月13日の「飲酒運転根絶の日」を広く道民に周知するとともに、道民一人ひとりに「飲酒運転をしない、させない、許さない、そして見逃さない」という規範意識の醸成を図るため、全道14ヶ所（振興局管内）において「飲酒運転根絶の日決起大会」を開催しました。

全道で合計約1,200名参加し、札幌市内での開催（交通安全対策七者連絡会議主催）にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、人数制限を行い、次のとおり実施しました。

- ・かでのホール 300名参加
- ・基調講演「飲酒運転ゼロを目指して～正しく知って安全で健康な社会～」
医療法人恵仁会空知病院 医療相談室長 葉内 崇 氏
- ・「飲酒運転根絶演劇～失われた未来～」、飲酒運転根絶メッセージと道民宣言
札幌山の手高校演劇部の皆さん

イ 飲酒運転根絶の日を周知するとともに、一年を通して飲酒運転根絶事業の普及啓発に使用するチラシやポスター等を作成・配布しました。

- ・チラシ 75,000枚
- ・ポスター 15,000枚

ウ 飲酒運転根絶ロゴマークや飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」について、通年運動や期別運動で作成するポスター、チラシの啓発資材等に掲載するなどして、効果的な活用を推進するとともに、関係団体や企業等の積極的な活用を促進しました。

また、飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」については、のぼり旗やチラシ・SNSでの発信等に活用し、幅広い世代への啓発を展開しました。

(4) 地域連携型飲酒運転根絶事業の実施

ア 「飲酒運転根絶！高校生メッセージコンクール」を実施し、受賞したメッセージをラジオや地域FMにおいて放送をするなどし、飲酒運転を見逃さないという社会全体の意識の醸成を図りました。

- ・募集期間 7月1日～9月30日
- ・応募作品 578作品
- ・受賞作品 北海道知事賞、北海道教育委員会教育長賞、北海道警察本部長賞、札幌市長賞、北海道交通安全推進委員会会長賞、北海道交通安全協会会長賞、北海道安全運転管理者協会会長賞（各1作品）、飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞（1校2作品）
- ・ラジオ放送時期 12月～1月
- ・ラジオ放送回数 213回（全道ラジオ局3局、地域FM局22局）

イ 飲酒運転根絶に関する取組を宣言する飲食店及び酒類販売店等の登録制度について、道と連携し旭川市、函館市、帯広市、後志、胆振、留萌管内のほか、本年度から石狩、渡島、上川、十勝、釧路及び根室管内で取組を開始しました。（平成30年度より独自で取り組んできた日高管内の登録数についても全体登録数に算入。）

- ・全体登録数 364件（うち、令和4年度 230件）

飲酒運転の根絶に取り組む旨の宣言を行った事業者の登録について、道と連携し令和4年度は、北海道トラック協会の協力を得て、会員事業所の登録を行いました。

- ・登録数 2,156事業者

ウ 「北海道から飲酒運転を根絶！学生PR動画コンテスト」を、道内の専門学校・短大・大学・大学院に通う学生を対象に実施し、受賞作品を当委員会のホームページやSNS等で公開するなど、啓発に活用しました。

- ・募集期間 7月1日～11月30日
- ・応募作品 11作品
- ・受賞作品 最優秀賞、優秀賞、佳作（各1作品）、
飲酒運転根絶アンバサダー「やべーべや」特別賞（2作品）
- ・活用 道庁及び振興局、関係機関・企業等（北海道エネルギー㈱のSS等）の協力によるデジタルサイネージ、研修会・大会等における放映など。

エ 各種イベントなどで活用する飲酒運転根絶アンバサダーの「やべーべや」が飲酒運転根絶や交通安全を訴える内容の「交通安全ぬりえ」を作成しました。

4 表彰事業

(1) ゼロ運動顕彰

交通事故死ゼロ継続期間が、基準日数に達した市町村の交通安全推進委員会等を表彰しました。

月別	市町村名（日数）	市町村計
4月	上富良野町(4,500) 雨竜町(2,500) 下川町(2,500) むかわ町(2,000) 厚真町(1,500) 比布町(1,500) 秩父別町(1,000) 天塩町(1,000) 奈井江町(700) えりも町(700) 標津町(700) 余市町(500) 根室市(500) 土別市(300)	2市12町 (14市町村)
5月	北竜町(5,500) 神恵内村(5,000) 月形町(2,500) 妹背牛町(1,500) 留寿都村(700) 鷹栖町(700) 浜頓別町(700) 美唄市(500) 長万部町(500) 厚沢部町(500) 小樽市(200) 釧路市(200)	3市7町2村 (12市町村)

6月	西興部村(10,000)島牧村(6,500)古平町(6,000)浦臼町(4,500)幌延町(4,000)寿都町(3,500)由仁町(2,500)清里町(2,000)福島町(1,500)遠別町(1,500)中川町(1,000)奥尻町(700)美深町(700)当別町(500)鹿部町(500)北見市(300)函館市(200)	2市13町2村 (17市町村)
7月	上ノ国町(5,000)知内町(3,500)東川町(3,000)羽幌町(2,500)新得町(1,000)鹿追町(700)岩内町(500)新冠町(500)本別町(500)	9町
8月	泊村(5,000)小清水町(3,000)ニセコ町(2,500)蘭越町(1,500)斜里町(1,500)更別村(1,500)羅臼町(1,500)新ひだか町(1,000)様似町(1,000)留萌市(1,000)和寒町(700)紋別市(500)訓子府町(500)白糠町(500)砂川市(300)小樽市(300)	4市10町2村 (16市町村)
9月	滝上町(2,500)鶴居村(2,500)利尻富士町(2,000)置戸町(2,000)三笠市(1,500)剣淵町(1,500)中頓別町(1,500)豊富町(1,500)栗山町(1,000)大空町(1,000)赤平市(700)足寄町(700)洞爺湖町(500)当麻町(500)石狩市(300)	3市11町1村 (15市町村)
10月	上川町(2,000)豊頃町(1,500)安平町(1,000)森町(700)日高町(500)士別市(500)清水町(500)池田町(500)岩見沢市(300)深川市(300)伊達市(300)	4市7町 (11市町村)
11月	礼文町(4,500)余市町(700)根室市(700)喜茂別町(500)七飯町(500)幌加内町(500)苫前町(500)広尾町(500)別海町(500)滝川市(300)	2市8町 (10市町村)
12月	陸別町(3,000)雄武町(2,000)大樹町(2,000)猿払村(1,500)美瑛市(700)厚沢部町(700)仁木町(500)占冠村(500)小平町(500)湧別町(500)夕張市(300)恵庭市(300)登別市(300)苫小牧市(200)	5市7町2村 (14市町村)
1月	上砂川町(4,500)当別町(700)新冠町(700)鹿部町(700)枝幸町(500)	5町
2月	名寄市(1,500)中札内村(1,500)奈井江町(1,000)鷹栖町(1,000)岩内町(700)訓子府町(700)幕別町(500)中標津町(500)	1市6町1村 (8市町村)
3月	京極町(7,000)留寿都村(1,000)浜頓別町(1,000)紋別市(700)砂川市(500)白老町(500)浦河町(500)木古内町(500)江差町(500)乙部町(500)今金町(500)函館市(200)	3市8町1村 (12市町村)
4月から3月まで延べ29市103町11村(計143市町村)を表彰		

(2) 指導員・奉仕員表彰

永年にわたり交通安全運動推進のため活躍した交通安全指導員、交通安全奉仕員93名を表彰しました。

(3) 母の会会員表彰

永年にわたり子供や高齢者等に対する交通安全活動推進のため活躍した交通安全母の会会員69名を表彰しました。

(4) 一般表彰

地域又は職域等において交通安全推進のため顕著な活動をした1個人・2団体を表彰しました。

(5) 業務貢献表彰

ア 5月23日、空知建設産業安全大会に甲谷筆頭副会長が出席し、一般社団法人空知建設業協会より147,500円(交通遺児育英事業と合わせると295,000円)を受納し、感謝状を贈呈しました。

イ 6月28日、北海道トラック交通共済協同組合創立50周年記念式典に甲谷筆頭副会長が出席し、同組合より1,000,000円を受納し、感謝状を贈呈しました。

ウ 7月20日、全国共済農業協同組合連合会北海道本部より700,000円、11月21日に700,000円の計1,400,000円を受納し、12月14日に甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。

エ 9月27日、第43回建設産業交通安全推進全道大会に勝木会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より500,000円(交通遺児育英事業と合わせると1,000,000円)を受納し、10月6日に甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。

オ 10月3日、全日本空輸株式会社(ANAオープンゴルフトーナメント大会)より300,000円(交通遺児育英事業と合わせると500,000円)を受納し、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。

カ その他、八剣山パークゴルフ場などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

5 交通安全啓発支援事業

(1) 交通安全運動等啓発事業

ア 交通安全運動の推進を図るため、啓発資材を作成し、市町村や関係機関、団体等に配布しました。

・ポケットティッシュ 130,000個

イ 期別運動

① 春、夏、秋及び冬の4期40日間、関係機関・団体と連携し、交通安全運動の重点を中心に初日行事や街頭啓発等を展開しました。

運動の種類	運動期間	主要行事
春の全国交通安全運動	4月6日～15日	道民の集い(4月6日)
夏の交通安全運動	7月13日～22日	飲酒運転根絶の日決起大会(7月13日)
秋の全国交通安全運動	9月21日～30日	交通安全道民総決起大会(9月21日)
冬の交通安全運動	11月13日～22日	セーフティコール(11月11日)

② 各期の交通安全運動の重点等を周知させるため、交通安全運動ポスター・チラシ等を作成し、市町村や関係機関・団体等に配布しました。

種別	作成時期	作成部数
ポスター	夏、冬の交通安全運動用	各 9,200枚
チラシ	春、秋の全国交通安全運動用	春 28,000枚、秋 30,000枚
	夏、冬の交通安全運動用	夏 51,000枚、冬 51,000枚

(※春と秋のポスターは、全国運動により内閣府で作成)

ウ 交通安全に関するDVDを購入し、各市町村や各団体等に貸出し、安全意識の高揚を図るほか、各種大会や交通安全パネル展等で使用する交通安全パネル等を各市町村や団体等に貸出しました。

・DVD貸出件数189件 視聴者(延べ数)13,779名

エ 市町村等の広報活動支援のため、令和5年4月に施行される改正道路交通法を踏まえた自転車安全利用五則を盛り込んだ広報啓発用音声データをホームページに公開しました。

(2) 自転車の交通事故防止事業

ア 自転車利用時の安全運転意識の向上や、マナーアップを図るため、新小学生・新中学生及び新高校生を対象に、「自転車安全利用五則」等を盛り込み、生徒をはじめ、その保護者や指導者にも役立つ内容の「自転車安全啓発リーフレット」を作成・配布しました。

・リーフレット(小学生用) 45,000枚【新1年生】

・リーフレット(中学生用) 31,000枚【新1年生】

・リーフレット(高校生用) 34,000枚【新1年生】

イ 関係機関・団体と連携し、各期の交通安全運動期間や自転車安全日等において街頭啓発を行い、自転車の安全利用を呼びかけました。

ウ 交通事故発生時の被害軽減に効果的な自転車ヘルメットの着用を定着させるために他校の模範となる自転車ヘルメットモデル小学校を指定し、ヘルメットを配布しました。

・モデル校 札幌市内の西野、北陽、前田、信濃及び月寒小学校

・主 催 北海道警察

・協 賛

一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道運転安全管理者協会、一般社団法人北海道指定自動車教習所協会、公益社団法人北海道トラック協会、一般社団法人北海道ハイヤー協会、公益社団法人北海道交通安全推進委員会

(3) 幼児の事故防止事業

幼稚園、保育所、認定こども園等で結成されている「こぐまクラブ」の活動を支援するため、クラブ活動状況を紹介する「こぐまクラブ活動の手引き」を作成し、道内全幼稚園、保育所、認定こども園等に配布しました。また、作成した「交通安全ぬりえ」など幼児の事故防止用の啓発資材やDVD貸出等の情報を提供しました。

・活動の手引き 2,200部

6 交通事故防止支援事業

高齢者の交通事故防止事業

(1) 各地区交通安全推進協議会や市町村、老人クラブ、交通安全母の会等と連携し、夜光反射材の

有用性と効果を体験・認識することにより、反射材の普及促進と高齢者の事故防止を図りました。
 (2) 高齢者を始めとして、子供やその親が世代の垣根を越えて相手への理解と思いやりを深めながら自ら参加し、考え、学ぶ「世代間交通安全事業」は、新型コロナウイルスの感染防止対策により幼稚園や保育園での実施が困難なため「パトカー型ペーパークラフト」を作成・購入し、幼稚園や保育園に配布しました。園児が先生と一緒に作り、作品を家族(両親・祖父母)にプレゼントし交通安全について話し合うことにより、家庭内での交通安全意識の高揚を図りました。

- ・配布先 認定こども園妹背牛保育所、社会福祉法人ななえ福祉会大沼保育園、初山別村立ふじみへき地保育所、認定こども園野付幼稚園
- ・配布数 800枚(各200枚)

(3) 市町村交通安全推進委員会が実施する「高齢者事故防止モデル事業」に必要な助成を行い、事故防止を図りました。

○助成先一覧

(単位：円)

助成先	事業内容	助成額
芦別市	安全教室等の開催と夜光反射材の配布	41,000
滝川市	高齢者宅訪問と各種夜光反射材の普及促進	15,000
砂川市	夜光反射材や交通安全パンフレットの配布	12,000
札幌市	夜光反射材やチラシの作成・配布	100,000
江別市	夜光反射材やチラシの作成・配布	13,000
小樽市	夜光反射材効果実演やチラシの作成・配布	48,000
共和町	夜光反射材や交通安全パンフレットの配布	49,000
苫小牧市	講話及び運転体験会の実施	27,000
函館市	自転車安全パネル展等の実施と夜光反射材の配布	99,000
旭川市	交通安全教室等の実施と夜光反射材の配布	28,000
士別市	講習会等の実施と夜光反射材の配布	30,000
中富良野町	交通安全イベントの開催と交通安全チラシの配布	14,000
紋別市	高齢者への交通安全グッズの配布	27,000
美幌町	講習会等の開催と夜光反射材やチラシの配布	30,000
佐呂間町	夜光反射材やチラシの作成・配布	16,000
新得町	夜光反射材の作成・配布と講習会の実施	29,000
幕別町	夜光反射材の配布	10,000
合計 11市6町		588,000

助成先は「各市町村交通安全推進委員会」等

第2 交通遺児育英事業(公益目的事業2)

1 奨学金の貸付

中学生、中等教育学校生、高等学校生、高等専門学校生(高等課程・専門課程)を対象に、貸付を行っております。令和5年3月末日現在の奨学生は42名(猶予・据置中7名及び返還中35名)です。

なお、制度創設の昭和51年度から総計381件、貸付総額は219,855,000円となっております。

- (1) 資金造成事業
黄色い羽根募金活動のための羽根等を、実施市町村へ配付しました。
- (2) 奨学金募集等事業
広く道民へ事業の浸透を図るため、ホームページを活用した情報発信及びチラシ等を作成し、市町村を始めとして、関係機関・団体等に周知しました。
- (3) 広報啓発活動事業
機関誌「フレンドリー通信」を3月に2,000部発行しました。
- (4) 称賛事業
ア 寄付者への感謝状の贈呈
① 5月23日、空知建設産業安全大会に甲谷筆頭副会長が出席し、一般社団法人空知建設業

協会より147,500円（交通安全推進事業と合わせると295,000円）を受納し、感謝状を贈呈しました。

- ② 6月7日、一般社団法人旭川地方自動車整備振興会70周年記念式典に甲谷筆頭副会長が出席し、同振興会より500,000円を受納し、感謝状を贈呈しました。
- ③ 9月27日、第43回建設産業交通安全推進全道大会に勝木会長が出席し、建設産業交通安全推進北海道本部より500,000円（交通安全推進事業と合わせると1,000,000円）を受納し、10月6日に甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- ④ 10月3日、全日本空輸株式会社(ANAオープンゴルフトーナメント大会)より200,000円（交通安全推進事業と合わせると500,000円）を受納し、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- ⑤ 3月26日、小林豊子きもの学院北海道本部・北海道講師会より300,000円を受納し、甲谷筆頭副会長より感謝状を贈呈しました。
- ⑥ その他、ライダーズミーティング寿都実行委員会、株式会社北海道丸和ロジスティクス、株式会社アペックス札幌営業所などから寄付金を受納し、感謝状を贈呈しました。

イ 寄付者の朝日新聞への掲載

掲載日6月30日

(5) 奨学金返還未納者調査 返還未納者を確認するため、電話及び手紙による催促を行いました。

2 特例奨学金制度に基づく給付状況

貸付金返還中のうち5名が、令和4年度中に貸付額の70%の返還に達し、当委員会から残りの30%に相当する額を給付し、返還を完了しました。

・給付額合計 金1,263,000円

3 新型コロナウイルスの影響を受けている交通遺児奨学生に対する経済的支援

新型コロナウイルスの影響が長期化する中で、特に困難や不安を抱えている交通遺児奨学生等が増えていくことを鑑み、当該奨学生が安心して修学等が継続できるよう、経済的支援として、次のとおり一律10万円の給付等を行いました。

ア 大学等に在学して返還期間の猶予を受けている者4名に対しては、1人あたり100,000円を臨時給付金として支給しました。

イ 返還中等の者43名のうち、15名から申請があり、一人につき返還不要の5万円を臨時給付金として支給するとともに、貸付額の残額から最大5万円の減免をしました。

4 寄付金の受納

交通遺児育英事業のために、寄付金を受納いたしました。

・寄付金合計額 金2,511,797円

(単位：円)

団体等	金額	件数
1 寄付(寄付)	546,000	11件
2 寄付(募金)	1,508,783	14件
3 羽根募金	215,736	9件
4 箱募金	241,278	66件
合計	2,511,797	100件

5 交通遺児育英事業の検証・見直し

(1) 検証・見直し

3割給付付き奨学金制度の導入後10年を迎えることから、現行の交通遺児育英事業を見直し、令和5年4月からこれまでの奨学金貸付制度に加え、新たに見舞金・給付金制度を創設することを決定し、諸規程を制定・改正しました。

ア 見直し・検討

・交通遺児奨学部会（令和4年5月9日、10月18日）

イ 理事会による決定

・北海道へ公益変更認定申請（令和4年11月29日）

・見舞金・給付金規程の制定、奨学金規程及び奨学部会規程の改正（令和5年3月1日）

(2) 新制度の周知・広報

新たな交通遺児育英事業を周知するため、チラシ及びPR動画を作成し、各市町村や小中学校を始め、関係機関・団体へ配布するとともに、ホームページやSNS等で発信しました。

また、公益社団法人北海道交通遺児の会、公益財団法人十勝交通育英会、公益財団法人釧根地区交通育英会等、関係機関・団体への情報提供や意見交換を行いました。

第3 交通安全推進団体交付金事業(その他事業)

1 地区活動の充実・支援

ア 地区交通安全推進協議会の運営と地区管内の交通安全運動の推進に係る啓発資材作成等の支援を行い、その充実を図りました。

イ 地区交通安全推進協議会が地域の実情にあった独自の交通安全活動を展開するため、必要な助成を行い、事業の推進に努めました。

地 区	事業名
空 知	冬道のスリップ事故防止啓発活動
石 狩	高齢歩行者・高齢運転者の事故防止啓発活動
後 志	春の行楽期及び秋の輸送繁忙期の交通安全運動
胆 振	春の行楽期及び輸送繁忙期街頭啓発における交通安全用チラシ作成・配布事業
日 高	飲酒運転根絶対策事業
渡 島	冬の交通安全運動パネル展
檜 山	新入学児童に対する啓発活動
上 川	交通安全啓発事業（高齢者交通安全講習事業、新入学児童交通安全啓発事業）
留 萌	オロロンライン交通安全特別啓発事業
宗 谷	新入学児童交通安全啓発事業
オホーツク	こどもと高齢者の事故防止事業
十 勝	交通事故死ストップ十勝百日作戦
釧 路	夏の行楽期の交通安全キャンペーン及びバイクの日啓発事業
根 室	7大キャンペーンの展開と交通安全教育の普及

2 母親交通安全活動の強化

北海道交通安全母の会の事務局業務を行うほか、自主的に実施する交通安全事業を支援するために必要経費の一部助成を行いました。

ア 「無事故の日」の啓発

イ 北海道交通安全母の会会長表彰の実施

長期にわたり交通安全運動の推進に尽力し、その功績が顕著な交通安全母の会の会員11名を表彰しました。

ウ 北海道交通安全母の会研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりましたが、機関誌「交母ほっかいどう」の地域交通安全母の会活動の掲載内容を充実させ、その情報を会員と共有するとともに、研修会で講師を予定していた筆頭副会長の母の会へのメッセージを合わせて送付しました。

エ 交通安全啓発活動の支援

交通安全母の会が実施する啓発活動時に必要な啓発資材を作成・配布して活動の支援を行いました。

第4 管理事業(法人会計)

1 社員総会の開催

(1) 日時 令和4年6月17日 14時00分～14時55分

(2) 場所 札幌市（ホテルポールスター札幌）

(3) 会員総数 259会員

出席会員 234 会員（うち委任状 200 会員）

(4) 議題

報告事項

第 1 号報告 令和 4 年度事業計画書及び収支予算書の件

決議事項

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告及び決算報告承認の件

第 2 号議案 役員改選の件

2 理事会の開催

【第1回】

(1) 日時 令和 4 年 5 月 30 日（書面開催）

(2) 議題

決議事項

第 1 号議案 令和 3 年度事業報告及び決算報告承認の件

第 2 号議案 規程の改正の件

第 3 号議案 特別会員の入退会の件

第 4 号議案 役員改選の件

報告事項

第 1 号報告 令和 4 年度交通遺児奨学部会委員選任の件

第 2 号報告 令和 4 年度交通遺児奨学部会決議事項の件

第 3 号報告 令和 3 年度特定資産運用結果の件

(3) 決議内容 定款第 37 条の規定に基づき、理事の全員が書面により同意

【第2回】

(1) 日時 令和 4 年 6 月 17 日 15 時 00 分～15 時 20 分

(2) 場所 札幌市（ホテルポールスター札幌）

(3) 出席者

理事総数 30 名

出席理事 17 名

出席監事 2 名

(4) 議題

決議事項

第 1 号議案 会長、筆頭副会長及び副会長の選任の件

報告事項

第 1 号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

【第3回】

(1) 日時 令和 4 年 11 月 29 日（書面開催）

(2) 議題

決議事項

第 1 号議案 交通遺児奨学金制度の検証・見直しに伴う公益変更認定（申請の決定）の件

第 2 号議案 正会員・賛助会員の入会の件

(3) 決議内容 定款第 37 条の規定に基づき、理事の全員が書面により同意

【第4回】

(1) 日時 令和 5 年 3 月 1 日 14 時 00 分～15 時 30 分

(2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）

(3) 出席者

理事総数 30 名

出席理事 24 名

出席監事 6 名

(4) 議題

報告事項

- 第1号報告 令和5年度特定資産運用計画の件
- 第2号報告 会長、筆頭副会長及び副会長の職務執行状況の件

決議事項

- 第1号議案 令和4年度収支補正予算（案）の件
 - 第2号議案 令和5年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）の件
 - 第3号議案 諸規程の改正の件
 - 第4号議案 令和5年度給付金等募集定員及び選考基準の件
 - 第5号議案 令和5年度定時社員総会の日時及び場所並びに目的事項の件
- その他

3 幹部理事会の開催

- (1) 日時 令和4年10月26日 10時00分～11時40分
- (2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）
- (3) 出席者
構成員数 6名
出席理事 5名（会長、筆頭副会長、副会長3名）
出席監事 2名

(4) 議題

報告事項

- 第1号報告 令和4年度事業経過報告の件
- 第2号報告 令和5年度予算要求（北海道補助金）の進捗状況の件

決議事項

- 第1号議案 交通遺児奨学金制度の検証・見直し等【公益変更認定（申請の決定）】の件

協議事項

- 今後の日程（予定）の件

その他

4 交通遺児奨学部会の開催

【第1回】

- (1) 日時 令和4年5月9日 13時30分～14時30分
- (2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）
- (3) 議題

報告事項

- 第1号報告 令和3年度交通遺児奨学生の貸付・返還状況の件

議決事項

- 第1号議案 令和4年度交通遺児奨学生採用の件
- 第2号議案 令和4年度における新型コロナウイルス感染症の影響を受けている交通遺児奨学生に対する経済的支援の件

協議事項

- 交通遺児奨学金制度の検証・見直しについて

【第2回】

- (1) 日時 令和4年10月18日 13時27分～14時33分
- (2) 場所 札幌市（札幌駅前ビジネススペース）
- (3) 議題

議決事項

- 第1号議案 交通遺児奨学金制度の検証・見直し等の件

その他